

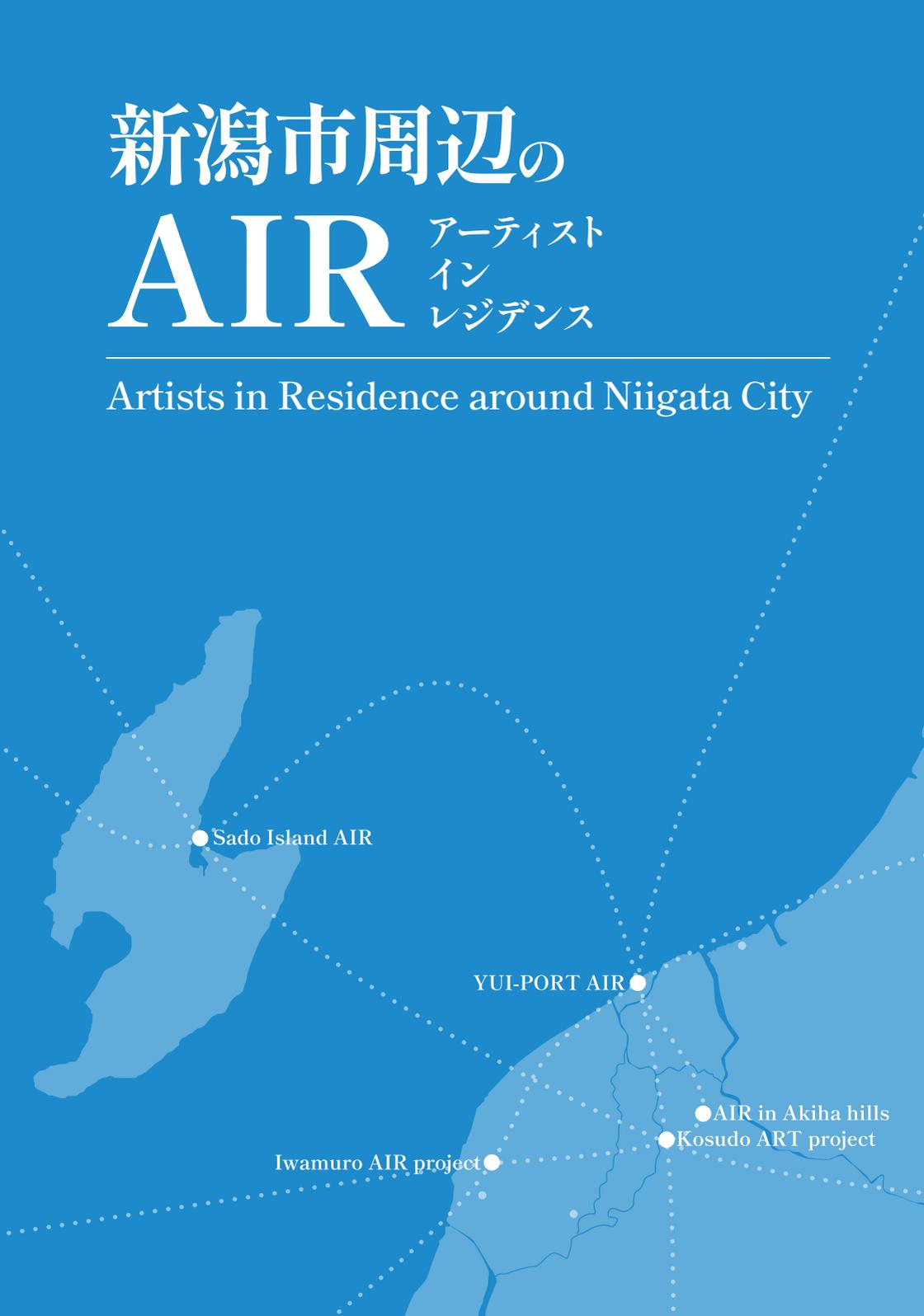
# 新潟市周辺の

# AIR

アーティスト  
イン  
レジデンス

---

Artists in Residence around Niigata City



● Sado Island AIR

The map shows the outline of Niigata Prefecture in a light blue color against a darker blue background. Dotted white lines represent various AIR project locations. A large white dot marks Sado Island AIR. A medium white dot marks YUI-PORT AIR. A small white dot marks Iwamuro AIR project. A cluster of two small white dots marks AIR in Akiha hills and Kosudo ART project.

● YUI-PORT AIR

● Iwamuro AIR project

● AIR in Akiha hills  
● Kosudo ART project



# 新潟市周辺のAIR

Artists in Residence around Niigata City

- 芸術祭後の地域における現代美術を中心としたAIR的活動のネットワーク化に向けた基礎的調査 - 調査報告書

## はじめに

本冊子は、2025年度に行った「新潟市周辺におけるAIRの実態調査」の結果をまとめたものです。

AIR (Artist in Residence |アーティスト・イン・レジデンス) という言葉を聞いたことがあるでしょうか。多くの方にはまだ聞き慣れない言葉かもしれません。

新潟市の現代美術の話題になると、市が主導して「水と土の芸術祭」が開催されたことは記憶に新しいでしょう。しかし、2018年での芸術祭の終了とその後のコロナ禍を経て、新潟市の現代美術を取り巻く環境は大きく変化しました。行政が政策を転換する中で、地域や社会に対してアートをおしてどのようなことができるのか、2012年の芸術祭を機に小さなアートプロジェクトを立ち上げ、現在まで継続してきた身として、その問いは大きくなるばかりでした。

その一方、近年、新潟市やその周辺でいくつかのAIRが立ちあがっている状況を耳にしていました。行政主導の芸術祭が終了した地域でも、アーティストとの交流の場を自発的に作り出している人たちが周りにいたのです。そして、その人たちがなぜその事業を始めたのか知りたくなくて、この調査を行いました。

この冊子は、その調査結果を多くの方に紹介し、新潟市周辺で行われている様々なAIRを知ってもらうために製作したものです。身近な地域での取り組み、興味がある取り組みがあれば、ぜひ情報を確認し、機会があれば参加してみてください。

最後になりますが、この場をお借りして、本調査にご協力いただいた全ての皆さまに感謝申し上げます。

小須戸ARTプロジェクト実行委員会  
代表 石田 高浩

## 目次

- 2 はじめに
- 3 AIR | アーティスト・イン・レジデンスとは？
- 4 新潟市周辺でのAIRの広がり
- 6 調査対象事業一覧
- 7 小須戸ARTプロジェクト
- 8 ゆいぽーとAIR
- 9 Sado Island AIR
- 10 秋葉山AIR
- 11 岩室AIRプロジェクト

## AIR | アーティスト・イン・レジデンスとは？

### AIRの定義

AIRとは何か。その定義のため文献などを引用・紹介する。

- それぞれの施設や運営団体により条件や内容が異なり、なかなか一言では言い表すことが難しいが、アーティストの滞在型創作活動を支援するシステムを指す  
(菅野幸子編、『アーティスト・イン・レジデンス まち・人・アートをつなぐポテンシャル』より)
- AIRとは、アーティスト、クリエイター、研究者などの創作活動を支援する短期滞在型のプログラムです  
(「AIR」 日本全国のアーティスト・イン・レジデンス総合サイトより)

本冊子では、アーティスト等が特定の場所に一定期間滞在し、創作活動を行うための制度やシステムをAIRと呼ぶ。



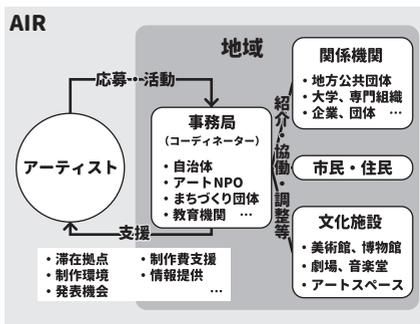
作品の公開制作の様子 | 小須戸ARTプロジェクト

### AIRの仕組み

AIRを動かす仕組みとは。事業や団体により運営方法は様々、アーティスト支援の内容も多岐に渡るが、以下に主な例を挙げておく。

#### <アーティスト支援の主な例>

- 滞在拠点や制作スペース、作品発表機会の提供
- 交通費・制作費・日当等の金銭的支援
- アーティストの希望に沿った関係機関の紹介
- 市民・住民との接点となるワークショップ等の企画・運営
- 文化施設等との協働やそのための連絡調整
- 事業の広報周知



AIR運営のイメージ図

### AIRの意義や期待される役割

現在、地方公共団体やアート団体だけでなく、まちづくりの団体や大学等の教育機関、介護・福祉施設や病院、企業など、様々な団体がAIRに取り組んでいるのはなぜか。

社会や地域の中でのAIRの意義や役割とは。その代表例を紹介する。

#### 多様な表現を支えるために

AIRはあらゆる芸術活動、創造の原点を支える不可欠な仕組み。アーティストの成長を促すだけでなく、アートマネジメントの専門人材育成、社会的ニーズに合った文化政策の立案も期待される。



AIRの成果展 | Sado Island AIR

#### 豊かな地域づくりのために

アーティストが創作過程で様々な主体と関わることで地域や社会に新たな視点がもたらされ、多様性の受容や新たな関係性の創出につながる。豊かな地域づくりにつなげる仕組みとしても注目される。



子どもたちの創作活動 | 秋葉山AIR

#### 民間文化交流の促進

全世界で実施されるAIRへの参加を通して、アーティスト間や地域・社会の多様な主体との国際交流の場が生まれる。AIRは政治や経済の枠組みを超えた対話や相互理解を促す活動でもある。



海外アーティストとの交流 | ゆいぽーとAIR

▶ AIRは、単にアーティストを支援しアート作品を生み出すだけでなく、地域や社会に深く関わり、人と人との交流を生み出すことで、より良い未来を育むための重要な役割を担っている。

## 新潟市周辺でのAIRの広がり

2000

2005

2010

・大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ初回開催

・文化芸術振興基本法 公布・施行 (2001.12)

・合併により新潟市誕生 (2005.3)

・新潟市が政令指定都市に移行 (2007.4)

○—うちのDEアート-(2001-2016)

○—アートサイト岩室温泉-(2003-2015)

水と土の芸術祭  
2009

水と土の  
20

水と土の芸術祭 (2009-2018)

地域プロジェクト (2009)



うちのDEあい | 2014



白井アートプロジェクト | 2015  
(市民プロジェクトでのAIRの例)



フルマチ・アート・スタジオ | 2016



ゆいぼーとAIR後に小須戸ARTプロジェクトに参加した Laure Julien | 2025

### 第1期 | 大学と地域の協働

### 第2期 | 行政事業と市民活動の

#### 1. 大学と地域の協働 (2000年代初頭～)

2000年代初頭、新潟市周辺では大学と地域の協働から外部アーティスト受け入れの動きが始まった。「うちのDEアート」(2001-2016)では、招へいアーティストの展示に加え、2003年には外国人アーティストを招いたAIRも実施されている。

同時期の「アートサイト岩室温泉」(2003-2015)では、武蔵野美術大学と温泉街が連携し、地域が学生作品を受け入れる形で交流が生まれた。これらは、新潟市周辺におけるAIRの萌芽といえる。

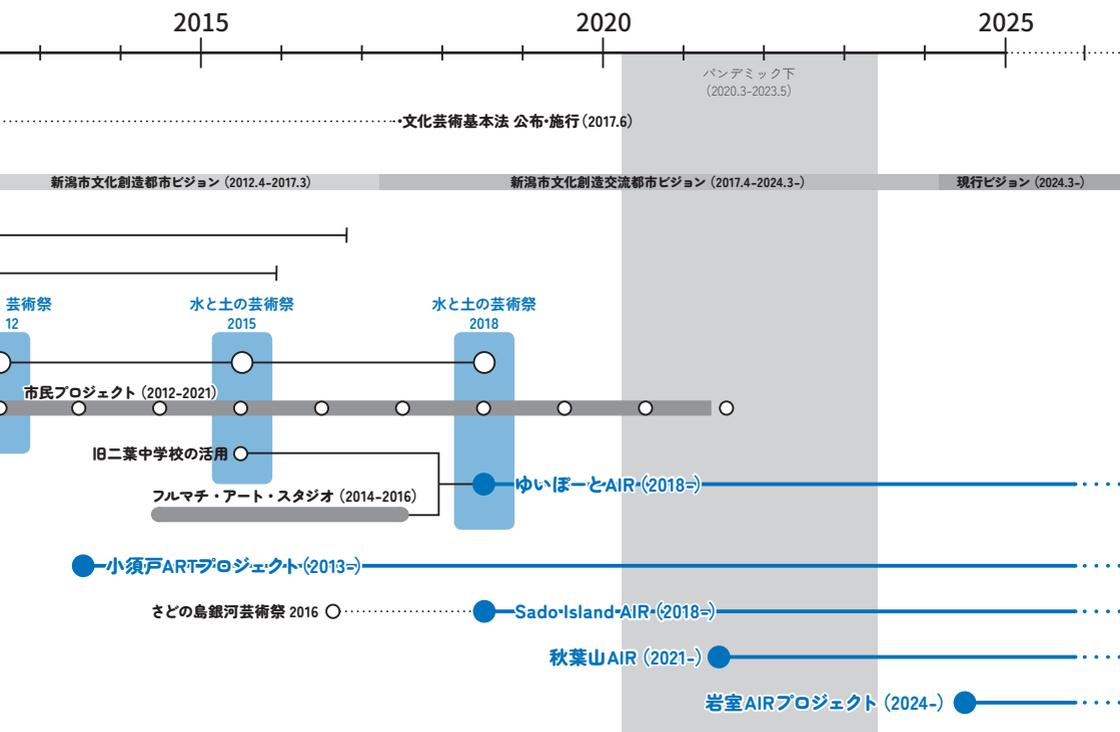
#### 2. 行政事業と市民活動の広がり (2009-2018)

2009年から2018年にかけて開催された「水と土の芸術祭」は、地域住民とアーティストの交流を大きく広げる契機となった。「市民プロジェクト」(2012-2021)では市民がアーティストを招へいする事業も多数行われ、滞在制作型の取り組みも各地で展開された。

また、行政によるAIRの試行として「フルマチ・アート・スタジオ」(2014-2016)が行われた。この時期は、行政・市民・地域が多様な形でアーティストを受け入れた「広がり時代」といえる

新潟市周辺において、AIRの取り組みはどのように始まり、広がってきたのか。

ここでは特に、外部からアーティストを地域に受け入れ、アーティストと市民・住民の交流を促したり、地域資源との関わりを重視した取り組みに着目し、行政や市民の動きを年表形式で整理した。



広がり

### 第3期 | 多様なAIRの展開

#### 3. 多様なAIRの展開 (2010年代後半～現在)

2018年に旧二葉中学校を改修した「ゆいぽーと」が開館し、「ゆいぽーとAIR」がスタート。一方で、市民プロジェクト終了やパンデミックの影響で多くの市民プロジェクトが休止する中、「小須戸ARTプロジェクト」は継続する。

周辺では舞台芸術を中心とした「秋葉山AIR」(2021-)、温泉街を拠点とする「岩室AIRプロジェクト」(2024-)、佐渡市では「Sado Island AIR」(2018-) など、地域特性を生かした多様なAIRが立ち上がり、近年はアーティストを介した事業間のつながりも見え始めている。



2023年よりゆいぽーとで開催された「小須戸ARTプロジェクト紹介展」は、AIR事業者間の具体的な連携例といえる

## 調査対象事業

本調査では、新潟市やその周辺地域で行われているAIRのうち、①地域外からアーティストを招へいしている、②過去に活動実績がある、③現在まで継続されている、この3点を満たす5つの事業を調査対象事業として選定し、運営団体にヒアリングを行った。

以下に、調査対象事業の一覧とその位置関係を示す。

表. 調査対象事業一覧

事業名	運営団体	団体の種類	活動地域	主なジャンル	開始年度
小須戸ARTプロジェクト	同実行委員会 (市民団体)	まちづくり系	小須戸 (新潟市秋葉区)	現代美術	2013
ゆいぽーとアーティスト・ イン・レジデンス	環境をサポートする (株)きらめき (指定管理者)	行政系 (設置者   新潟市)	新潟市中央区と その周辺	現代美術	2018
Sado Island AIR	一般社団法人 佐渡国際芸術推進機構	アート系	佐渡 (佐渡市)	現代美術	2018
秋葉山AIR	NEphRiTE dance company	アート系	新津 (新潟市秋葉区)	舞台芸術	2021
岩室AIRプロジェクト	同実行委員会 (市民団体)	まちづくり系	岩室 (新潟市西蒲区)	舞台芸術	2024

● Sado Island AIR

ゆいぽーとAIR●

岩室AIRプロジェクト●

●秋葉山AIR  
●小須戸ARTプロジェクト

## 小須戸ARTプロジェクト Kosudo ART project



プロジェクトの拠点「町屋ラボ」、水と土の芸術祭2018での公開当初の様子

### 水と土の芸術祭から始まった、町屋活用のアートプロジェクト

#### 概要

かつて信濃川の川湊として栄えた小須戸のまちに、アートに代表される創造性を吹き込み、地域の魅力の再発見・発信をめざす取り組み。桶職人の住居だった空き町屋をDIYで整備した「町屋ラボ」を拠点にアーティストを受け入れ、成果発表時には周辺の町屋や店舗なども会場として利用する。これまでに延べ30組以上のアーティストが地域を訪れ、地域事業者とアーティストのコラボレーションの実現など、少しずつ、新しい動きが生まれ始めている。

#### 特徴

- ・町屋等の歴史的な建物や地域資源を活かした“サイト・スペシフィック・アート”の制作と展示が中心
- ・年に1度「リサーチ枠」と「成果発表枠」の2つの参加形式でアーティストを公募で受け入れ
- ・水と土の芸術祭2012を契機に始まり、市民による自主的な活動として現在まで継続

#### 歴史・背景

水と土の芸術祭2012を契機に、地区内の町屋「薩摩屋」の活用の動きや秋葉区内の文化施設連携の枠組みを活用した小須戸コミュニティ協議会の事業として2013年に開始。その後は芸術祭関連の市民プロジェクト補助金の獲得やアサヒ・アート・フェスティバルへの参加をおとして、ワークショップやトークイベントも実施し、取り組みの幅を広げる。芸術祭が終了した後、2019年度より運営体制を現体制に変更し、拠点を「町屋ラボ」に移した。

#### Information

活動エリア	小須戸（新潟市秋葉区）
運営組織名	小須戸ARTプロジェクト実行委員会
拠点施設名	町屋ラボ
施設所在地	〒956-0101 新潟市秋葉区小須戸3668-3
WEBサイト	<a href="https://kosudoart.com">https://kosudoart.com</a>



## ゆいぽーとアーティスト・イン・レジデンス YUI-PORT Artist in residence



日本海を望む砂丘上、防砂のために植えられた松林の中に建つ「ゆいぽーと」

### 日本海と市街地にほど近い、アーティストと青少年・市民の交流拠点

#### 概要

新潟市が設置した、文化芸術支援と青少年育成を目的として複合施設「ゆいぽーと」で行われるアーティスト・イン・レジデンス事業。新潟の魅力を国内外に発信し、滞在するアーティストと市民の交流を通して、地域の文化や歴史の再発見や、地域への誇りや愛着づくりにつなげることをめざしており、これまでに延べ50組以上のアーティストが滞在し、周辺文化施設の催しやアートプロジェクトに滞在アーティストが参加する例も生まれている。

#### 特徴

- ・ 廃校を改修・活用した複合施設を拠点に行われる、新潟市周辺では唯一の公設AIR
- ・ 長期滞在・支援費支給の「招聘プログラム」と短期滞在「自主活動プログラム」の2区分で年間8組を受け入れ
- ・ 新潟市中央区だけでなく、参加アーティストの興味・関心にあわせ、周辺エリアでの活動も実施される

#### 歴史・背景

2014年度末で廃校となった旧二葉中学校校舎が、水と土の芸術祭 2015開催時に「ベースキャンプ」として活用され、2017年策定の「新潟市文化創造交流都市ビジョン」の施策で、国内外の芸術家等の滞在・活動拠点と青少年の体験活動と国際交流等の場を併せた旧校舎を利活用した複合施設となり、2018年5月に「ゆいぽーと」としてオープン。施設の文化芸術活動支援事業のなかで、アーティスト・イン・レジデンス事業に取り組んでいる。

#### Information

活動エリア	新潟市中央区とその周辺
運営組織名	指定管理者：環境をサポートする株式会社きらめき 設置者：新潟市
拠点施設名	ゆいぽーと（新潟市芸術創造村・国際青少年センター）
施設所在地	〒951-8102 新潟市中央区二葉町2丁目5932番地7
WEBサイト	<a href="https://www.yui-port.com">https://www.yui-port.com</a>



## Sado Island Artist in Residence



佐渡市両津の中心商店街の中ほどに建つ、現代アートギャラリー「TAACHI」

### 佐渡島に誕生した、クリエイターと地域をつなぐ拠点

#### 概要

佐渡島を拠点に、現代美術を中心とした芸術文化の創造・発信を推進し、地域の魅力を向上させるために「さどの島銀河芸術祭」をはじめとした様々な事業を展開する、一般社団法人佐渡国際芸術推進機構が実施するアーティスト・イン・レジデンス事業。現代アートギャラリー「TAACHI」を拠点としつつ、宿泊は周辺ゲストハウスを紹介する形式で実施。年間を通して公募を行っており、これまでに国内外から延べ40組程度を受け入れている。

#### 特徴

- ・さどの島銀河芸術祭と連動した運営で、同芸術祭や拠点「TAACHI」での作品展示への展開が可能
- ・日本海最大の離島・佐渡島の独自の歴史文化や恵まれた自然環境を活かした制作活動が魅力
- ・アーティスト自身が滞在費・制作費を負担する、セルフファンディング形式での運営

#### 歴史・背景

2016年に初開催された「さどが島銀河芸術祭 2016」を契機に、2018年に一般社団法人佐渡国際芸術推進機構が設立され、同機構の主催AIRとして事業が開始される。2022年には同機構が元衣料品店だった建物を改装した現代アートギャラリー「TAACHI」を整備し、AIRの拠点としてだけでなく、ジャンルの枠を超えた様々なクリエイターのための研究、創作、交流の場として、アート・文化・観光の視点から地域が賑わう拠点として運営をスタート。

#### Information

活動エリア	佐渡市
運営組織名	一般社団法人佐渡国際芸術推進機構
拠点施設名	TAACHI
施設所在地	〒952-0011 新潟県佐渡市両津夷53-1
WEBサイト	AIR_][ <a href="https://air-j.info/residence/sadoisland">https://air-j.info/residence/sadoisland</a> 同機構 [ <a href="https://sia-promotion.org">https://sia-promotion.org</a>



## 秋葉山AIR

Artist in residence in Akiha hills



秋葉山を登る坂道の途中に位置する「泊まれる劇場スロウハウス」

## NEphRiTE dance company 運営「泊まれる劇場」と「商店街のスタジオ」を拠点に

### 概要

アートによる地域創生の可能性をアーティスト目線で探求すること、地域のアーティスト・ダンサーの育成を目的に、2つの拠点を活用して滞在制作の機会を創出している。主催者のアート活動を通じたネットワークを活かし、コンテンポラリーダンスの作家を中心にセレクトし、招へいしている。カンパニーメンバーのダンサーや地域の子どもたちとの活動、共同制作の可能性も提供し、1週間程度の短期滞在の後、即興性を重視した成果公演へとつなげる。

### 特徴

- ・主催者のネットワークや専門性を活かした、コンテンポラリーダンスや舞台芸術を中心とした事業展開
- ・外部アーティストとの活動機会を通したカンパニーメンバーの育成や子どもたちへの教育への接続
- ・現在は参加アーティストは主催者による招聘が中心だが、今後AIRプログラムを構築し公募も実施する予定

### 歴史・背景

ダンサーとして活動する土田貴好氏・小倉藍歌氏夫妻が、土田氏の出身地・秋葉区新津にUターンし、2017年にNEphRiTE dance companyを結成。在外研修などを経た後、2021年にカンパニーが運営する地域プロジェクトの1つとして、「D-gift」の名称で外部作家を招聘しての創作・発表活動を開始。2025年よりプロジェクトの名称を「秋葉山AIR」に変更し、「泊まれる劇場スロウハウス」と「商店街に面したスタジオ」を拠点として事業を実施している。

### Information

**活動エリア** 新津（新潟市秋葉区）  
**運営組織名** NEphRiTE dance company  
**拠点施設名** 泊まれる劇場スロウハウス / あるていすとstudio  
**施設所在地** 〒956-0832 新潟市秋葉区秋葉1丁目6-20 / 〒956-0864 新潟市秋葉区新津本町3丁目8-2  
**WEBサイト** <https://note.com/arutisuto/m/m6d016279d26b>



## 岩室AIRプロジェクト Iwamuro AIR project



プロジェクト立ち上げ時に描かれたメインイメージ

## 長期プロジェクト始動！アーティストが帰ってこれる岩室温泉へ！

### 概要

温泉地として知られる新潟市西遷区岩室地区内の「岩室シェアハウスとも家」を拠点に、とも家代表の宮將太氏と兄でダンサーの宮悠介氏を中心に、2024年度に立ち上げ。年に1度舞台芸術系のアーティストを対象に公募を行い、1組のアーティストを受け入れる。参加アーティストが地域での暮らしを体験することに重点が置かれた事業で、作品の制作や発表は求められず、ワークショップを通じた市民との交流と、活動の記録のnoteでの発信が行われる。

### 特徴

- ・温泉街に立地するシェアハウスを拠点に若手舞台芸術系のアーティストを受け入れる、立ち上げ間もない事業
- ・アーティストに岩室地域での暮らしを体験してもらうことを重視した、緩やかな滞在プログラム
- ・ゆくゆくは首都圏周辺で活動するアーティストの第二の拠点作りや移住につなげることも意識される

### 歴史・背景

かつて岩室地域では、武蔵野美術大学との協働によるアートサイト事業が展開されていたが、その終了に伴い、若者やアーティストの訪問が途絶えていた。地域住民の間には、「どうせなくなる」という外部人材に対する諦めの感情も見られるようになっていた。これに対し、岩室シェアハウスとも家を中心に「一過性ではない関係性の再構築」をめざし、新たなAIRプロジェクトが構想された。

### Information

活動エリア	岩室（新潟市西蒲区）
運営組織名	岩室AIRプロジェクト実行委員会
拠点施設名	岩室シェアハウスとも家
施設所在地	〒953-0104 新潟市西蒲区岩室温泉166-2
WEBサイト	<a href="https://note.com/iwamuro_air">https://note.com/iwamuro_air</a>



## 新潟市周辺のAIR

### Artists in Residence around Niigata City

- 芸術祭後の地域における現代美術を中心としたAIR的活動のネットワーク化に向けた基礎的調査 - 調査報告書

調査・執筆・編集：石田 高浩（小須戸ARTプロジェクト実行委員会代表）

発行者：小須戸ARTプロジェクト実行委員会

発行年：2026年3月

調査協力・写真提供：一般社団法人佐渡国際芸術推進機構、岩室AIRプロジェクト実行委員会  
環境をサポートする（株）きらめき、NEphRiTE dance company

助 成：公益財団法人小笠原敏晶記念財団  
調査・研究等への助成（現代美術分野）



公益財団法人  
小笠原敏晶記念財団

この冊子は、「芸術祭後の地域における現代美術を中心としたAIR的活動のネットワーク化に向けた基礎的調査」をもとに、新潟市周辺のAIR事業の紹介を目的に編集・構成したものです。調査全体の報告書は小須戸ARTプロジェクトのWEBサイトに掲載しています。この冊子の著作権は発行者に、各事業の写真はそれぞれの事業主催者に帰属します。無断での転載や使用はお断りします。



